

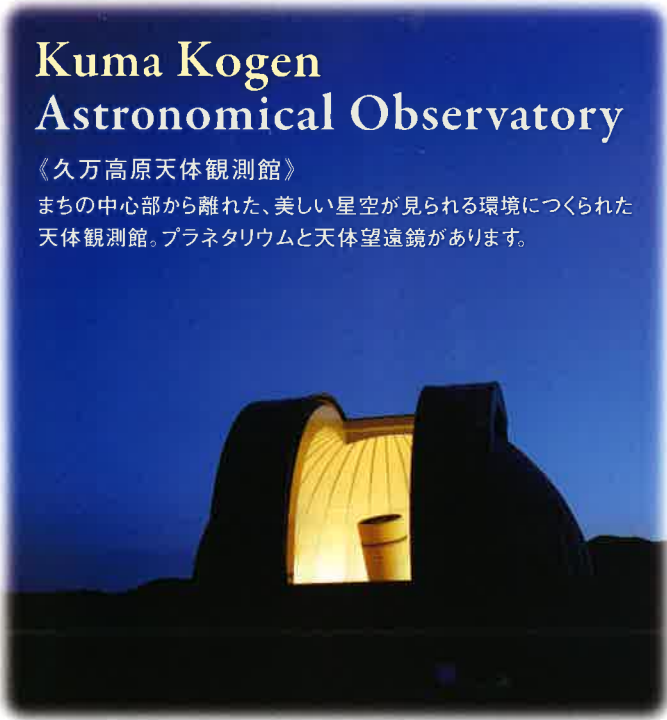
Kuma Museum of Art

《久万美術館》
日本の近代洋画家たちの作品を中心とした個性豊かなコレクションと心地よい木の空間が自慢の木造美術館です。



Omogo Mountain Museum

《面河山岳博物館》
動植物や自然、歴史、人々と山のかかわりなど、石鎚山系の「感動」が凝縮された山の博物館です。



Kuma Kogen Astronomical Observatory

《久万高原天体観測館》
まちの中心部から離れた、美しい星空が見られる環境につくられた天体観測館。プラネタリウムと天体望遠鏡があります。



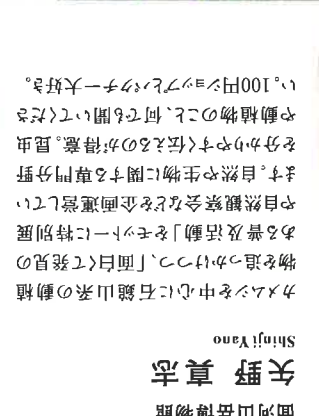
ようこそ、森のミュージアムへ

石鎚山系にすむ動植物の標本や模型が勢ぞろい



岡山 健仁
面河山岳博物館
Takahito Okayama

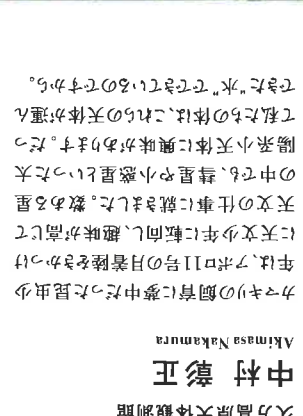
毎年テーマの違う特別展・企画展は必見です



矢野 真志
面河山岳博物館
Shinji Yano

私たちがご案内いたします!

恵まれた環境で星を観察することができます



中村 彰正
久万高原天体観測館
Akimasa Nakamura

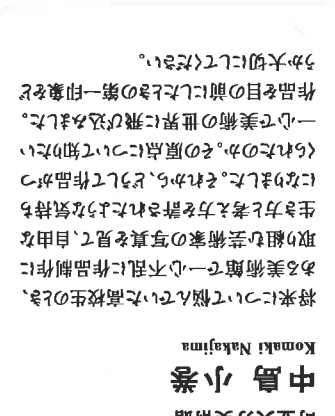
星雲・星団が美しい大きな望遠鏡が自慢です



藤田 康英
久万高原天体観測館
Yasuhide Fujita

私たちがご案内いたします!

美術の世界を広げるキッカケとなるはずです



町立久万美術館
中島 小巻
Komaki Nakajima

私たちがご案内いたします!

将来について悩んでいた高校生とき、ある美術館で一心不乱に作品制作に取り組み芸術家の写真を見て、自由な生き方と考え方を許されたような気持ちになりました。それから、どうして作品がつけられたのか、その原点について知りたい一心で美術の世界に飛び込みました。作品を目の前にしたときの第一印象をどうか大切にしてください。

少年の頃、友だちらの天体望遠鏡でませてもらった土星。“環”のある姿に驚き感動したことを今でも鮮明に覚えていますが、それをきっかけに宇宙の不思議や魅力にリウツかれ、天文少年となりました。星を観る感動を伝えたい、宇宙や星の魅力が多(多)の人に感じてもらうことが私の願いです。

カマキリの飼育に夢中だった昆虫少年は、7ホロ11号の月着陸をきっかけに天文少年に転向し、趣味が高じて天文の仕事に就きました。数ある星の中でも、彗星や小惑星といった太陽系小天体に興味があります。だって私たちの体は、これらの天体が運んできた“水”でできているのですから。

カマキリを中心に石鎚山系の動植物を追っかけて、「面白くて発見の多い、100円ショップとパチンコ大好き。や動物のこと、何でも聞いてくださる分りやすい」伝えるのが得意。昆虫や動物の自然の魅力発信し続けたいです。



展示室



エントランス

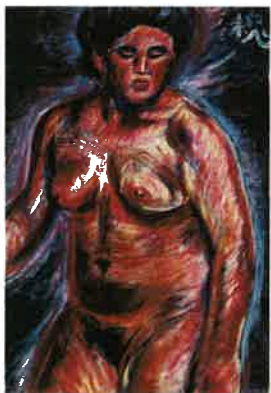


全景



ロビー(受付)

村山槐多<裸婦><芍薬>、萬鉄五郎<T子像>、長谷川利行<のあのあ>など、かつては異端と呼ばれながらも光彩を放った近代洋画家たちの作品を軸に、現代彫刻・書画・砥部焼を中心にした陶磁器などを、季節ごとにテーマを変えて展示しています。村山槐多の<裸婦>は必見で、燃えるような激しい作品です。樹齢80年を超える久万杉の丸太柱が並ぶ展示室は、まるで森の中にいるような心地よさを感じられます。



村山槐多<裸婦>



岸田劉生<岸田辰弥之像>



三輪田米山<仁義>



寺内半月<淡黄磁観音立像>

こんなこともやっています!

作品鑑賞だけでなく、皆様により親しんでもらうために、150年前の<久万山真景絵巻>に描かれた場所をご案内するイベントや、アートにちなんだお話し会として、毎月第3土曜日の夜は、「アート夜話」(要予約)など行っております。企画展期間中は、実際に制作、体験するワークショップや、専門職員が解説するギャラリートークも開催しております。



高橋由一<真崎の渡>



ドームと北斗七星



天文台外観



プラネタリウム投影機



星天城(本館)

昔ながらの機械式投影機が懐かしい小さなプラネタリウムは、職員による生解説が人気です。天文台にある望遠鏡は、口径60cmと県内最大。公開日には実際に星の観察をすることができます。人工の灯りの少ない久万高原町の環境は、美しい星空を観るのに絶好です。同じ敷地内に宿泊施設(ふるさと旅行村)があるので、泊りがけでゆっくり星を眺めることもできます。



観測風景



プラネタリウム



展示コーナー

こんなこともやっています!

移動用の小型望遠鏡を使った館外での天体観測会も行っています。観られる星は限られますが、学校のグラウンドなどで気軽に観察することができます。講演会や星座観察と組み合わせることも可能です。



町立 **久万美術館** 愛媛県上浮穴郡久万高原町菅生2-1442-7
〒791-1205 TEL 0892-21-2881
<http://www.kumakogen.jp/culture/muse/>
【休館日】月曜日・祝日の翌日 【料金】一般500円・高大生400円・小中生300円

久万高原天体観測館 愛媛県上浮穴郡久万高原町下畑野川乙488番
〒791-1212 TEL 0892-41-0110
<http://www.kumakogen.jp/culture/astro/>
【休館日】月曜日・祝日の翌日 【料金】一般500円・高大生400円・幼小中生300円



面河山岳博物館外観



夏の石鎚山



博物館ロビーからみた紅葉



石鎚の昆虫

石鎚山系にすむ昆虫や動物、高山性植物、石鎚山の生い立ち、山岳信仰や登山の歴史など、石鎚山系と久万高原町の自然や歴史・文化をジオラマや写真、標本、模型などの豊富な資料で紹介している「山の博物館」。5万点を超える収蔵品を常設展や特別展示などで公開しています。事前に予約をすれば学芸員による常設展示の楽しくてわかりやすい解説も受けられます。



石鎚山周辺の地質



石鎚山のジオラマ模型



石鎚山の植物

こんなこともやっています!

学芸員による川の生き物観察や昆虫教室などの出前講座、面河溪の散策ツアーガイド(団体のみ対応、要相談)、春のツツジや夏の高山性植物、秋の紅葉など、石鎚周辺の最新の自然情報をご提供しています。



久万高原町はこんなところ
久万高原町は、石鎚山系や四国カルストなどの山岳に囲まれた高原のまちで、愛媛県と高知県を結ぶ国道33号線の、ちょうど両県の中間に位置しています。
西日本最高峰の石鎚山(1982m)を中心に、大川嶺や面河溪、古岩屋などの四季折々に美しい姿を見せてくれる雄大な景色、里山ののんびりした風景が広がります。春からシーズンを迎える登山やトレッキング、夏の避暑、秋の紅葉、冬のウインタースポーツなど、年間を通して楽しめるレジャーも充実。山菜や川魚などの山の幸、高原野菜や果物などにも恵まれています。



石鎚山

面河溪



四国カルスト

アクセス



【町立久万美術館】
◎JR松山駅から久万・落出方面行きバスで約70分
◎JRバス[久万中学校前]で下車、徒歩10分(0.8km)
◎松山ICから国道33号線を高知方面へ車で約40分
【久万高原天体観測館】
◎JR松山駅から久万・落出方面行きバスで約70分、久万高原下車後タクシーで約10分
◎松山自動車道・松山ICから車で約45分
◎高知市内から国道33号線経由約2時間20分
【面河山岳博物館】
◎松山ICより国道33号線を高知方面へ直進約50分、旧美川村御三戸交差点を面河溪谷方面に左折後直進約30分

